

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

- 4日 岡心勇隊佐賀地区
- 8日 岡心勇隊奈良中和
- 9日 岡心勇隊五條橋本（あやの台）
- 13日 岡心勇隊八幡地区
- 15日 大教会ひのきしん（道弘）
- 18日 岡心勇隊大阪地区
- 21日 大教会ひのきしん（相嘉）
- 22日 祭典準備ひのきしん
- 大教会ひのきしん
（表野・飛鳥川・岡萩）
- 大教会役員会議
- 22～23日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭
- 23～26日 婦人会詰所ひのきしん
- 24日 大教会ひのきしん（東松浦・西北）
- 25日 詰所ひのきしん日
- 26日 本部月次祭
- 30日 岡心勇隊姪浜会場
- 第一日曜日 おちぼ伏せ込み団参（午前中）

▼その他の行事予定▲

12月 27・10日 大教会大掃除
◎本部お供えお餅つき

1月 25日 おちぼ伏せ込みひのきしん

教務報

◆本部人事（7月26日付）

- ・少年会隊結成
- 表時隊（表野―表田）
- 隊長 上田 縁 治
- ・少年会隊長変更
- 表野隊 江川 奈々星
- 上橋隊 藤本 美羽

◆大教会人事（10月23日付）

- ・女鳴物調弦係
- 岡 森 井 典子
- 岡 萩 森 本 恵美子
- ・大教会詰員
- 東松浦 吉田 忠 実
- 大和二見 松本 直 美

◆おさづけの理拝戴願
（10月16日～11月15日詰所受付分）

- ◆教養掛
- 12月 表時 上田 時 弘
- 1月 岡道 谷川 清 彦
- 眞澄 松本 孝 輔
- 眞澄 松本 沙那加

婦人会伏せ込みひのきしん



10月は薬院、呉服町、眞澄、枚方、東志免、飛鳥川、天神免の7教会から参加。「秋季大祭と宮森先生

のご巡教があり、あわただしさがありましたが、参加人数も多く、お互いにたすけ合って伏せ込ませていただきました。

立教一八五五年 十二月号(十一月二十三日発行) 岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp
発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111
天理教岡大教会
電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
185.11.23 / 046



ひながたを目標に教えを実践し
たすけ一条の道を推し進めよう

本部巡教

「ご本部秋季大祭の祭典終了後、真柱様が『論達』をご発表くださり、教祖百四十年祭に向けた全教の機運が高まった。この『論達』ご発表を受け、大教会では11月23日に「本部巡教」を開催。巡教員の仲野芳行本部員先生を迎え、参加者100人が教祖年祭へ向かう気持ちを新たにされた。

当日は、まず全員で『論達』を拝読。その後、仲野先生が話を進めた。

仲野先生はまず『論達』の冒頭に込められた「全教の心を一つにしたい」との真柱様の思いにふれ、年祭を勤める意義を説明。また、自らを教祖へ近づける歩みとその努力の大切さを示した上で、「一人ひとりがひながたを目標に教えを実践し、たすけ一条の道を推し進めることが、教祖百四十年祭の廉目」と強調した。最後は、改めて実動の句であることを強調し、「私は動きます」と締めくくった。



本部巡教に先立つ10月23日、世話人の宮森与一郎本部員先生がご巡教くださり、『論達』のご発表を受ける心構えをお話くださった。宮森先生はまず、教祖年祭活動は「種をまくチャンス」と位置づけ、「どんなことが起こるのかを楽しんでみよう」という気持ちで通っていただきたい」と述べられた。

世話人巡教 「しやんして心さためてついてこい」 大教会世話人・宮森与一郎本部員先生



最後に、真柱様から頂戴する『論達』を受けて「わが身のことを捨てて通らせて頂きましょう」と呼びかけ、「自信を持って、ふらつく事の無いように、親神様にもたれ切った心で、3年間しっかり共々に通らせていただきますように」と締めくくった。

写真で振り返る一カ月
11月 November

オンラインで総会に`参加、`



コロナ禍の影響から、参加対象者をリーダー層に限定して開催された「第96回天理教青年会総会」。対象者以外には、青年会長様のご挨拶がYouTubeでLIVE配信され、オンラインで視聴することができた。

第7次オーストラリア布教隊



活動開始から、今年で10年の節目を迎えた「オーストラリア布教隊」。コロナ禍の影響から丸2年間実動できなかったが、この度活動を再開。現地ようぼくのマイケル・キャッシュマンさん（敷津）と共に、にをいがけに歩いた。 ※詳細は来月号に掲載予定。

女子青年大会に向けて



岡女子青年（芝田沙姫委員長）は10月22と23の両日、例会を開催。11月27日開催の「女子青年大会」への参加呼びかけを行ったほか、バザーを実施。手作りのクッキーやプリンを販売した。

鶴城分 創立100周年記念祭



鶴城分教会（大野真也会長）では、11月20日に「創立100周年記念祭」を実施。92名が一手一つに参拝した。あいさつに立った大野会長は「教祖140年祭に向けて、成人の歩みを進めていきたい」との思いを伝えた。

ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください！



▲3年ぶりの開催となった「関東おつとめ日」。参加した42人が一手一つに勇んでおつとめを勤めた。

大教会

関東の教友が一手一つにおつとめ
『論達』ご発布後 最初の「関東おつとめ日」

関東の教友が一同に会する「関東おつとめ日」が10月29日、岡瀧分教会（常道祐毅会長）を会場に開催され、関東各地から42人（内訳／15教会、大人33人、少年会員9人）が参加した。

コロナ禍の影響から3年ぶりの開催となった今回に向けては、これまでの名簿を基に62通のハガキを送付。また、約30力所の教友宅へ、直接電話で参加を呼びかけた。

「コロナ禍でまだまだ思うように動きにくい今だからこそ、関東在住のお互いが心を寄せ合い、一緒におつとめを勤め、心に明るさを生む機会にしたかった」と話すのは、会場責任者の常道久雄大教会役員。加えて、「教祖百四十年祭に向けて真柱様から『論達』をご発布いただき、最初の大教会行事としてどうでも開催させて頂きたかった」と振り返る。

当日は、座りづとめと六下り目までの前半は2交代で勤められ、後半下りは全員で総立ちに。おつとめ後には大教会長様があいさつ下さり、賑やかな「おつとめ日」となった。

西北分教会 三会合同総会を開催



西北分教会（森川祐三会長）は文化の日の11月3日、婦人会、青年会、少年会の合同総会を開催しました。当日は一手一つに、勇んだおつとめが勤められました。